



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社
 コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 財務経理本部長 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	52,269	9.9	5,867	28.4	5,891	17.4	3,378	5.1
26年3月期第1四半期	47,551	9.8	4,569	20.7	5,019	39.6	3,213	55.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3,551百万円(△8.2%) 26年3月期第1四半期 3,870百万円(112.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	25.31	25.25
26年3月期第1四半期	24.38	24.05

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	138,031	105,377	70.5
26年3月期	140,966	104,466	69.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 97,339百万円 26年3月期 97,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	6.5	22,500	14.1	22,500	8.3	13,300	10.0	99.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) Calbee-URC, Inc. 、除外 1社 (社名) -

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	133,557,800株	26年3月期	133,507,800株
27年3月期1Q	104,232株	26年3月期	104,232株
27年3月期1Q	133,453,019株	26年3月期1Q	131,807,382株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。そのため、発行済株式数(普通株式)については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。また、株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、平成27年3月期第1四半期及び平成26年3月期の「期末自己株式数」にそれぞれ103,400株含めており、平成27年3月期第1四半期の「期中平均株式数」から103,400株控除しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 平成25年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。
- 3 平成27年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,453,568株により算定しております。
- 4 当社は、平成26年8月4日(月)に機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融緩和策の効果により、緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

スナック菓子業界におきましては、消費税増税の影響もあり4月の市場規模は前年を下回りましたが、5月以降は回復し、3ヶ月累計ではほぼ前年並みとなりました。

このような環境にあつて、当社グループは、引続き、イノベーション（成長戦略）とコスト・リダクションを経営の二本柱とする事業活動を推進しました。国内事業では、ポテト系スナックやシリアル食品の「フルグラ」が好調で市場の伸びを上回る売上成長を達成することができました。また、売上拡大に加えて、コスト・リダクションの推進により、営業利益率を改善することができました。海外事業では、北米のSnapea Crispsの売上が好調で収益拡大に貢献しました。また、海外事業のさらなる拡大に向けて、平成26年4月にフィリピンにおいてUniversal Robina Corporationとの合弁会社を設立しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、食品製造販売事業が好調に推移したことにより、52,269百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。利益面では、製造原価率の改善と販売促進費の効率的運用により、営業利益は5,867百万円（前年同四半期比28.4%増）、経常利益は5,891百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。四半期純利益は、前年同四半期に投資有価証券売却益374百万円を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間においては多額の特別利益が発生しなかったため、3,378百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

	平成26年3月期 第1四半期		平成27年3月期 第1四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	43,906	92.3	47,649	91.2	+8.5	+8.5
海外売上高	3,644	7.7	4,619	8.8	+26.7	+23.8
合計	47,551	100.0	52,269	100.0	+9.9	+9.7

・事業別の状況

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、スナック菓子やシリアル食品、海外事業が貢献し、51,351百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、44,070百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

① ポテト系スナック

「ポテトチップス」は、「堅あげポテト」の売上が好調に推移したことに加え、サッカーワールドカップ関連製品の売上が伸長しました。「じゃがりこ」は期間限定製品の発売や製品ラインナップの拡充により、増収となりました。「Jagabee」はボックスタイプの値下げをしたものの、数量増につながらず、売上高は前年を下回りました。その結果、ポテト系スナック売上高は27,350百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

② 小麦系スナック

小麦系スナックの売上高は、発売50周年を迎えた「かっぱえびせん」の売上が堅調で、5,464百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

③ コーン系スナック

コーン系スナックの売上高は、お取引各社のプライベートブランド製造受託の増加などにより、ポップコーンの売上が好調で4,502百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。

④ 国内その他スナック

国内その他スナックの売上高は、アンテナショップ「カルビープラス」などの売上が堅調で、2,132百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

⑤ 海外事業

海外事業の売上高は、北米でSnapea Crispsの売上が大きく伸長したことにより、4,619百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、2月に生産能力を拡大したシリアル食品の「フルグラ」の売上が大きく伸長し、7,281百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

（その他事業）

その他事業の売上高は、物流事業と販売促進ツールの売上がともに前年同四半期を上回り、917百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金や有形固定資産が増加したものの、有価証券が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,934百万円減少し、138,031百万円となりました。有形固定資産の増加はインドネシアの工場用地の取得等によるものです。

負債は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ3,846百万円減少し、32,654百万円となりました。

純資産は、少数株主持分の増加により、前連結会計年度末に比べ911百万円増加し、105,377百万円となりました。

この結果、自己資本比率は70.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は729円39銭となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,412百万円減少し、30,180百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは2,465百万円の純収入（前年同四半期は2,575百万円の純収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額5,250百万円の資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益5,857百万円、減価償却費1,421百万円の資金の増加があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは1,629百万円の純支出（前年同四半期は1,467百万円の純支出）となりました。この主な要因は、有価証券の償還による純収入1,000百万円の資金の増加があったものの、固定資産の取得による支出2,662百万円の資金の減少があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2,049百万円の純支出（前年同四半期は2,048百万円の純支出）となりました。この主な要因は配当金の支払額2,939百万円の資金の減少があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成26年5月13日に発表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(新規)

当社のグローバル戦略のもと、アジアにおけるスナック菓子の有望な市場の一つであるフィリピンにおいて、当社製品の参入とシェアの拡大を図るため、フィリピンで強いブランド力と販売力を持つUniversal Robina Corporationと当社により平成26年4月に合弁会社であるCalbee-URC, Inc. を設立し、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が602百万円増加し、退職給付に係る資産が143百万円、利益剰余金が481百万円それぞれ減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,783	21,358
受取手形及び売掛金	17,392	17,143
有価証券	29,997	24,999
たな卸資産	6,522	7,298
その他	6,141	4,915
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	78,834	75,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,970	20,677
機械装置及び運搬具（純額）	16,400	16,277
土地	10,773	11,350
建設仮勘定	1,009	1,619
その他（純額）	1,012	1,025
有形固定資産合計	50,166	50,950
無形固定資産		
のれん	3,347	3,193
その他	1,265	1,249
無形固定資産合計	4,613	4,442
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,445	7,019
貸倒引当金	△92	△92
投資その他の資産合計	7,353	6,926
固定資産合計	62,132	62,319
資産合計	140,966	138,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,897	8,395
短期借入金	—	126
未払金	3,739	3,421
未払法人税等	5,324	1,330
賞与引当金	3,573	1,396
役員賞与引当金	217	46
株式給付引当金	13	12
その他	7,906	9,934
流動負債合計	28,673	24,664
固定負債		
役員退職慰労引当金	591	490
退職給付に係る負債	6,134	6,446
資産除去債務	639	641
その他	461	411
固定負債合計	7,827	7,990
負債合計	36,500	32,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,957
資本剰余金	11,514	11,526
利益剰余金	74,259	74,219
自己株式	△262	△262
株主資本合計	97,458	97,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210	265
為替換算調整勘定	973	854
退職給付に係る調整累計額	△1,266	△1,222
その他の包括利益累計額合計	△82	△102
新株予約権	34	30
少数株主持分	7,055	8,007
純資産合計	104,466	105,377
負債純資産合計	140,966	138,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	47,551	52,269
売上原価	26,679	29,174
売上総利益	20,871	23,094
販売費及び一般管理費	16,302	17,226
営業利益	4,569	5,867
営業外収益		
受取利息	13	78
受取配当金	12	18
為替差益	378	—
その他	66	90
営業外収益合計	470	187
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	—	125
その他	20	37
営業外費用合計	21	163
経常利益	5,019	5,891
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	374	10
特別利益合計	374	11
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	16	43
投資有価証券評価損	10	—
その他	0	0
特別損失合計	28	46
税金等調整前四半期純利益	5,365	5,857
法人税、住民税及び事業税	1,805	1,470
法人税等調整額	258	711
法人税等合計	2,064	2,182
少数株主損益調整前四半期純利益	3,300	3,675
少数株主利益	87	296
四半期純利益	3,213	3,378

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,300	3,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	55
為替換算調整勘定	513	△222
退職給付に係る調整額	—	43
その他の包括利益合計	569	△123
四半期包括利益	3,870	3,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,585	3,358
少数株主に係る四半期包括利益	285	193

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,365	5,857
減価償却費	1,439	1,421
のれん償却額	158	160
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,342	△2,176
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△138	△171
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	△1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	75	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△230
前払年金費用の増減額(△は増加)	9	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19	△101
受取利息及び受取配当金	△25	△97
支払利息	0	1
為替差損益(△は益)	△274	254
投資有価証券売却損益(△は益)	△374	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	10	—
固定資産売却損益(△は益)	0	1
固定資産除却損	16	43
売上債権の増減額(△は増加)	1,444	241
たな卸資産の増減額(△は増加)	△675	△785
仕入債務の増減額(△は減少)	427	501
未収入金の増減額(△は増加)	177	86
未払金の増減額(△は減少)	△492	26
未払費用の増減額(△は減少)	1,874	1,373
未払消費税等の増減額(△は減少)	△85	447
その他	891	791
小計	7,466	7,628
利息及び配当金の受取額	41	88
利息の支払額	△7	△0
法人税等の支払額	△4,924	△5,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,575	2,465

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,856	△2,569
有形固定資産の売却による収入	0	5
無形固定資産の取得による支出	△120	△92
有価証券の取得による支出	—	△4,000
有価証券の償還による収入	—	5,000
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	377	18
貸付けによる支出	△0	△60
貸付金の回収による収入	35	97
定期預金の預入による支出	△10	△173
定期預金の払戻による収入	10	109
差入保証金の差入による支出	△18	△29
差入保証金の回収による収入	128	69
その他	△7	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,467	△1,629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	128
長期借入金の返済による支出	△7	—
ストックオプションの行使による収入	42	20
少数株主からの払込みによる収入	—	761
配当金の支払額	△2,042	△2,937
少数株主への配当金の支払額	△9	△2
リース債務の返済による支出	△31	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,048	△2,049
現金及び現金同等物に係る換算差額	300	△199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△639	△1,412
現金及び現金同等物の期首残高	25,331	31,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,692	30,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。